

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成16年9月16日(2004.9.16)

【公表番号】特表2000-505070(P2000-505070A)

【公表日】平成12年4月25日(2000.4.25)

【出願番号】特願平9-524000

【国際特許分類第7版】

A 0 1 N 47/02

A 0 1 N 43/44

【F I】

A 0 1 N 47/02

A 0 1 N 43/44

【手続補正書】

【提出日】平成15年7月31日(2003.7.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成15年7月31日

特許庁長官 今井 康夫 殿

## 1. 事件の表示

平成15年特許願第524000号



## 2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

名称 バイエル・アクチエンゲゼルシャフト

## 3. 代理人

〒107-0052

住所 東京都港区赤坂1丁目9番15号  
日本自転車会館

氏名 (6078) 弁理士 小田島 平吉



電話 3585-2256

## 4. 補正命令の日付 なし

## 5. 補正の対象

請求の範囲

## 6. 補正の内容

別紙のとおり

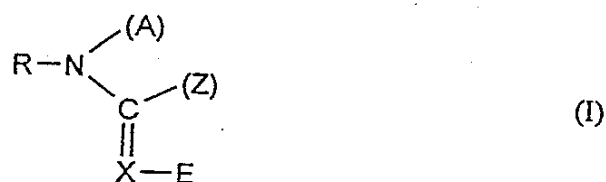


## 別紙

## 〔請求の範囲〕

1. フィプロニル (fipronil) およびニコチン性アセチルコリン受容体の少なくとも一種のアゴニストまたはアンタゴニストの相乗的に有効な量を含んでなる作物の保護のための殺微生物組成物。

2. フィプロニルおよび式(I)



式中、

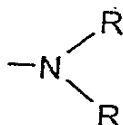
Rは水素、場合により置換されていてもよいアシル、アルキル、アリー  
ル、アラルキル、ヘテロアリールまたはヘテロアリールアルキル基を表  
し；

Aは水素、アシル、アルキル、アリールよりなる群からの一官能基を表  
すか或いは基Zに結合している二官能基を表し；

Eは電子求引性基を表し；

Xは基—CH=または=N—を表し、基—CH=はH原子の代わりに基  
Zに結合してもよく；

Zはアルキル、—O—、—S—R、



よりなる群からの一官能基を表すか或いは基Aまたは基Xに結合して

いる二官能基を表す、

で示される少なくとも一種の化合物を含んでなる請求項1に記載の組成物。

3. 木材の保護のための組成物の通常の成分の外に、フィプロニルおよびニコチン性アセチルコリン受容体の少なくとも一種のアゴニストまたはアンタゴニストの相乗的に有効な量を含んで成る、木材の保護のための組成物。

4. フィプロニルおよびニコチン性アセチルコリン受容体の少なくとも一種のアゴニストまたはアンタゴニストの相乗的に有効な量を保護される材料に適用するか、或いは材料をこの混合物で処理することを特徴とする、殺虫性攻撃から工業材料を保護する方法。